



みやかわ

会津美里町立宮川小学校
令和3年度学校だよりNo.27
令和3年11月4日

会津美里町立宮川小学校長 星 潔

明日は校内マラソン記録会

明日、11月5日（金）は校内マラソン記録会です。子ども達は、朝の時間や体育の時間に自分の目標に向かって、一生懸命に練習してきました。いよいよ本番です。一人一人が、自己ベストをめざして、一生懸命に走り抜くと思います。お忙しい中だとは思いますが、お時間が許す場合は、ぜひ子ども達の頑張りをご覧いただければ幸いです。よろしくお祈りいたします。「チーム宮川」の子ども達、精いっぱい頑張ります！！

< 競技開始予定時刻 >

9:35～ 6年生	10:00～ 5年生	10:25～ 4年生
10:45～ 3年生	11:05～ 1年生	11:20～ 2年生

※ 予定時刻となっております。時間が多少前後する場合もございますので、ご注意ください。



がんばっている
練習の様子です



地元を学ぶ地域学習

10月26日（火）に5年生が本郷地区で焼き物体験を学び、6年生は学校で「天海大僧正」について学ぶ授業を行いました。どちらも私たちの町「会津美里町」にとって欠かすことのできない産業と人物です。5, 6年生にとって、町のよさを再認識するすばらしい機会にもなりました。お忙しい中ご指導いただいた講師の先生には大変お世話になりました。ありがとうございました。

< 5年生 焼き物体験 >



< 6年生 天海大僧正を学ぶ授業 >



本物を学ぶ学習（新聞づくり）

10月21日に福島民報社さんが来校され、5年生で新聞づくりについて学ぶ授業を行ってくださいました。子ども達は初めて知ることがほとんどで、興味津々に話を聞いていました。やはり本物の講師の先生に、本物の話をさせていただくことは何事にも代えがたい学習となります。コロナ禍で様々な制限はありますが、できるだけ本物を学ぶ学習を行っていきたいと思います。



カラープリンター設置（期間限定）

EPSON 社による授業等におけるカラープリンターの多様な活用法について検証する事業に本校が参加することになり、無償でカラープリンターを設置していただきました。今回の学校だよりもこのプリンターで印刷しました。今後も様々な文書をカラー印刷で配付させていただくことがあります。ただし期間限定となりますので、ご了承ください。



校長のひとりごと

独立行政法人国立青少年教育振興機構では、「自己肯定感とは、自分のあり方を積極的に評価できる感情、自らの価値や存在意義を肯定できる感情などを意味する言葉」と述べています。つまり「自分には、良いところがある」と感じることです。また、自己肯定感が高いと学力も高くなる傾向があるという分析もあります。そして子どもの自己肯定感を高めるには、保護者の意識や高まりも影響していると分析しているところもあります。「こどもまなびラボ」のホームページでは、自己肯定感を高めるために親ができる言葉かけが記述してありました。1：子どもの気持ちに共感する。2：子どもを人と比べない。3：過保護になりすぎない。の3つだそうです。「だからダメだって言ったじゃない」「お兄ちゃんはかけっこが1番だったのに」「ほら、〇〇があったほうがいいんじゃない？」などのNGワードではなく「それは悲しいね」「走るの、だいぶ速くなったんじゃない？」「あなたはどうしたい？」などの自己肯定感アップワードを使うようにすることが大切だということでした。自分の子育てを振り返ってみるとNGワードをかなり使ってしまったと反省させられました。星家のように失敗するのではなく、保護者の皆さん、自己肯定感アップワードを選択し、輝かしい未来に向けて、子ども達を良い方向に導いていってください。

(<https://kodomo-manabi-labo.net/jikokouteikan-gakuryoku> より一部引用)